

## 令和 8 年第 1 回定例会一般質問

No.	質問議員 氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答弁を 求める者	発言 時間
1	殿井 堯 (一問一答)	1. 今後の有田川町について、どのような構想を描いているのか	前中山町長が 5 期 20 年にわたり現在の有田川町を築いてきたが、今回健康上の理由でやむなく続投を断念した経緯がある。 この後を受け継いだ坂頭町長には、前町政をどのように引継ぎ、また独自にどのようなことを行って、今後の有田川町を導いていくのか、その構想についてお尋ねしたい。 また、町長を支える執行部各位には、その構想をどのような方法で、どうやって補佐していくのかをお聞きしたい	町長 教育長 全部長 総務課長 財務課長 企画調整課長	30分
2	谷畑 進 (一問一答)	1. 有田川町の農業について	町の基幹産業は農業であると認識するが、後継者不足から耕作放棄地が増え農業（農家）は危機状態にある。農業に対する町長の考えは。 ・有田みかん等農業振興の進め方は ・世界農業遺産 有田・下津地域の石積み階段園みかんシステムをどのように産地振興にむすびつけるのか ・ぶどう山椒等農業振興はどのように図るのか	町長 担当部長	30分
		2. 鏡石トンネル開通に伴う地域活性化は	年末に開通した鏡石トンネル県道 18 号は期待を上回る程の交通量である。予想通りであるが、金屋地区の振興につながるように仕掛けていかなければならないと思うが、考えを問う ・地域販売所「糸野集遊村」「上六川販売所あじさい」への応援方法はあるのか ・明恵ふるさと館周辺の整備の考えは ・糸野徳田間の橋への思いは ・旧道の整備は	町長 担当部長	

No.	質問議員 氏名	質問事項	質問要旨	答弁を 求める者	発言 時間
3	椿原 竜二 (一問一答)	1. 選挙の投票率について	今回の町議会議員選挙の投票率は70.9%であったが、年代別に見た投票率はどのような状況であったのか。また、高齢等の理由により投票に行きたくても行けないという声もある中で町としてその実態をどのように把握し、投票機会の確保に向けてどう考えているのか。	町長 担当部課長	60分
		2. 今後のまちづくりについて	中山前町長がこれまで進めてきた町政運営や各種施策を踏まえ、坂頭町長は、今後のまちづくりをどのような考え方・方向性で進めていくのか。また、子育て支援・教育・地域づくりなどこれまで取り組んできた施策を今後どのように位置づけ、継続・発展させていく考えなのか。 事業の継続にとどまらず、将来を見据えたまちづくりとして、どのようなビジョンを描いているのか。	町長 教育長 担当部長	
		3. スポーツ振興について	本町では、夜間に子どもがスポーツに取り組める環境が限られている現状。町の認識は。学校終了後もスポーツに取り組みたい、夢に向かって練習を続けたいと願う子どもたちを行政としてどのように支え、今後のスポーツ環境整備をどのように進めていくのか。	町長 教育長 担当部長	
		4. 保育の充実について	中山前町長が掲げてきた「待機児童ゼロ」に向けた取り組み。坂頭町長も同様の考えなのか。また、希望どおりの保育が受けられないという声が増えている現状や、育休退園制度に対する坂頭町長の考え方、今後の制度のあり方について問う。	町長 教育長 担当部長	

No.	質問議員 氏名	質問事項	質問要旨	答弁を 求める者	発言 時間
4	神山 裕介 (一問一答)	<p>1. 発達に支援が必要な子どもへの切れ目のない支援体制について</p> <p>2. 世界農業遺産認定を踏まえた農業産地の維持と担い手確保について</p>	<p>有田圏域で障害児の支援に携わる関係者の方から「発達に支援が必要な子どもへの切れ目のない支援体制」の充実を求める陳情をいただきました。陳情には有田圏域子ども部会が実施したアンケート（回収数212家庭）の結果が添えられており、緊急時に福祉サービスを利用できた家庭はわずか5%で、92%が家族・親族の対応に頼っている実態が示されています。こうした現状を踏まえ、以下2点についてお伺いいたします。</p> <p>1. 緊急時の預かり体制の整備について 障害のある子どもの保護者に緊急の事態が生じた際の預かり体制について、本町の現状と今後の方針をお聞かせください。</p> <p>2. 学校と福祉の連携、及びライフステージの移行支援について 教育と福祉の連携の現状と、進学時・卒業後における切れ目のない支援について、本町の取り組みと今後の方針をお伺いします。</p> <p>有田川町を含む有田・下津地域は、昨年「石積み階段園みかんシステム」が世界農業遺産に認定されました。みかんやぶどう山椒をはじめとする農業は本町の基幹産業ですが、担い手の高齢化・後継者不足が進み、耕作放棄地の拡大が深刻な課題となっています。世界農業遺産の認定は産地の保全と継承の責務をを伴うものであり、農業産地の維持と次世代の担い手確保は喫緊の課題と考えます。こうした現状を踏まえ、以下2点についてお伺いいたします。</p> <p>1. 耕作放棄地の解消に向けた取り組みについて 耕作放棄地の発生抑制及び解消に向けた本町の現状と取り組みと、今後の方針をお聞かせください。</p> <p>2. 新規就農者の確保・定着支援について 新規就農者の確保と定着に向けた本町の支援体制の現状と、今後の方針をお伺いします。</p>	<p>町長 教育長 担当部長</p> <p>町長 担当部長</p>	60分

No.	質問議員 氏名	質問事項	質問要旨	答弁を 求める者	発言 時間
5	堀江 眞智子 (一問一答)	1. 不登校などによる長期に休んでいる児童生徒の健康診断について	① 不登校等を理由に小中学校での健康診断を受けられない児童生徒はいるのか、またその人数は？ ② 不登校等を理由に学校での健康診断を受けることのできない児童生徒について、どのような対応をしているのか、また今後どのように対応しようと考えているのか。	教育長	30分
		2. 御霊小学校の教室増設について	① 知的支援学級が2学級になったのに、1つの教室を2つに分けて使用することになったのはどういう経過からなのか。 ② 支援学級を新しく増設する考えはあるのか。 ③ 庄二区内の宅地造成により児童数の増加が考えられるが、新しく教室を増設する考えはあるのか。	町長 教育長	
6	佐曾 永和 (一問一答)	1. 清水消防署の建替え時期、移転先の候補又、清水署の人員増員の配置について	清水消防署が開署して39年目を迎え、老朽化が進み早急な建替えの時期に達していると思われませんが建替えの時期はいつか。又、建替えるとすると場所の候補地は決まっているのか。又、現在、清水消防署管内での在住者は署長のみであり、火災、特異な救急事案では当務全員が出動し消防署が無人状態であり、他の署員到着までは約50分程度を要し防犯対策が皆無である為、当務員の増員が出来ないか。	町長 消防長 担当部長	60分
7	栗山 昌之 (一問一答)	1. 令和8年度から実施されるこども誰でも通園制度の町単独での追加保育の考えは	小学生未満のこどもたちを保護者の職業、共働き等の要件での入所要件を解除し、希望者は本当に誰でも通園できる制度を構築するべきではないですか。	町長 教育長 担当部長 担当課長	60分
		2. ユーチューブで町内外に拡散している2018年9月の災害に係る町補助金についての経過内容やどの様な判断によりどのように決裁され、対応されたか、また町民に対する報告を願いたい。また、ユーチューブの中で報じられている月額2000円の返済で1437年かけて町民に返済されるというのは事実ですか	町内外に流出している2018年9月の災害に係る町の補助金についての経過内容やどの様な判断によりどのように決裁され、対応されたか、また町民に対する報告を願いたい。また、ユーチューブの中で報じられている月額2000円の返済で1437年かけて町民に返済されるというのは事実ですか	町長 担当部長 担当課長	

No.	質問議員 氏名	質問事項	質問要旨	答弁を 求める者	発言 時間
8	増谷 憲 (一問一答)	1. 町長の政治姿勢 について	1. 日本国憲法尊重擁護義務は町長にあることの認識とその立場での実践は。 2. 地方自治法の本旨の認識は。 3. 憲法や非核軍備宣言の町として、最近の紛争への認識は。 4. 所信表明の町政運営の4点から、持続可能な雇用の創出、職員の情熱を活かす組織再編成、仮称まちづくり課の設置、職員のやる気を出させるしくみ、などの具体策は。	町長	50分
		2. 図書館等の施策 について	1. 町長の図書館等への考え方、方向性は（指定管理も含めて） 2. 図書館を住民の文化の砦として、住民参加のまちづくりに活用していけるように、職員と住民のコミュニケーションがとれる体制づくりが必要ではないか。 3. 図書館基本計画の策定はどうか。	町長 教育長 担当部長	
		3. 風力発電事業に ついて	1. 上六川地内などに予定されている風力発電事業計画の直近の状況は。 2. 白馬山系に計画している風力発電事業計画への認識と前町長と同じ姿勢で対応していただけるか。	町長	